

作成のポイント

今年度に結果報告書を提出される方へ

チェックリスト

- ☐ 1 前年度使用した支援シートを使用したか
- ☐ 2 「電力」欄の使用方法は適切か
- ☐ 3 調整後排出係数のメニューは正しいか
- ☐ 4 入力する排出係数に計算は必要か、添付はあるか
- ☐ 5 原単位の根拠資料の添付と有効数字は正しいか
- ☐ 6 変更等届出書を提出し忘れていないか

特に間違いの多い項目について挙げました。
書き方の詳細については手引きをお読みください。



チェック1 前年度使用した支援シートを使用したか

「**点検票**」や「**PDCAシート**」も
前年度使用したものに
追記してください。



前年度提出に使用した入力支援シートの
最終バージョンをそのまま使用(追記)してください。

また、提出済みの計画書・結果報告書・点検表
(過去のデータや数値)は原則**修正不可**となります。

チェック2 「電力」欄の使用方法は適切か

A1シート入力画面

The screenshot shows a spreadsheet with multiple tables. The top table, '電力' (Electricity), has columns for '事業年度' (Fiscal Year), '電力' (Electricity), and '消費量' (Consumption). It is divided into sections for '一般送配電事業者' (General Transmission and Distribution Business) and '電気事業者' (Electricity Business). The bottom table, '電気事業者' (Electricity Business), also has columns for '事業年度' and '電力'.

<1、2号>

・省エネ法に対応

<4号>

・温対法に対応



つまりは(新電力を含む)電気事業者から購入する場合は、その他ではなく、「電気事業者」欄に入力してください。

※昨年度までその他を使用している事業者は、さかのぼっての修正は行わず、今年度の数値からこのように入力してください。

「電力」欄について

- ・省エネ法の定期報告書の書き方に合わせてください。
- ・一般送配電事業者等が維持、運用する電線路を用いて供給を受ける電力は「電気事業者」欄に入力してください。

チェック3 調整後排出係数のメニューは正しいか

A2シート入力画面

事業所等一覧(基準年度)

番号	事業所名	住所	(実) 使用電気の 排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	(調) 使用電気の 排出係数 (tCO ₂ /千kWh)	電力購入先 (電気事業者名)
1	川崎工場	川崎市〇〇区△丁目□番□号	0.531	0.522	東京電力
2	川崎第二工場	川崎市〇〇区△丁目□番□号	0.531	0.522	東京電力
3	営業所	川崎市〇〇区×丁目×番〇号	0.531	0.522	東京電力
4	第二営業所	川崎市〇△区×丁目□番△号	0.423	0.443	〇〇〇
5	倉庫	川崎市×〇区〇丁目×番〇号	0.531	0.522	東京電力

電気排出係数の値について

⇒ 「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度について」(環境省・経済産業省)

<http://ghg-santeikohyo.env.go.jp/> から転記してください。

電気事業者名	基礎排出係数 (t-CO ₂ /kWh)	調整後排出係数 (t-CO ₂ /kWh)	
		メニューA	0.000000
かわさきパワー(株)	0.000426	メニューA	0.000000
		メニューB	0.000000
		メニューC(残差)	0.000450
		(参考値)事業者全体	0.000442

購入した電力のメニューを
必ず入力してください。

不明な場合は契約している
電力事業者にお問合せください。

(参考値)を入力することは
ありません。

チェック4 入力する排出係数に計算は必要か、添付はあるか

以下の場合、算定根拠資料を添付してください。

- ・年度途中で電気事業者が変わった場合
- ・複数の電気事業者から購入した場合
- ・電気事業者から排出係数が公表されていない場合
- ・自社内で発電した電気を使用している場合

算定の方法が不明な場合には御相談ください。

連絡先: 脱炭素戦略推進室 044-200-2545

30jigyo@city.kawasaki.jp

チェック5 原単位の根拠資料の添付と有効数字は正しいか

■ 生産数量、延べ床面積以外の活動量を選択した場合は根拠資料を添付してください。(A8-A9でも可)

■ 有効数字に御注意下さい！

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況 (排出係数固定)

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 5,720 (調) 5,708 t-CO ₂	(実) 5,412 (調) 4,947 t-CO ₂	(実) t-CO ₂ (調) t-CO ₂	(実) t-CO ₂ (調) t-CO ₂	(実) 5,621 (調) 4,959 t-CO ₂
削減率		(実) 5.4 (調) 13.3 %	(実) % (調) %	(実) % (調) %	(実) 1.7 (調) 13.1 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	生産量		単位	t-CO ₂ /t	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	0.9535	0.9080			0.9010
削減率		4.8 %	%	%	5.5 %

排出量原単位の
有効数字は**4桁**

(原単位の)削減率の
有効数字は**2桁**

チェック6 変更等届出書を出し忘れてないか

変更等届出書

次の事項に該当する場合は提出してください。

提出が不要な場合もありますので、事前に担当者にお問い合わせください。

◆事業者の情報の変更

代表者の変更、主たる事業者の変更など

◆計画の内容の変更

例えば、目標排出量に大幅な変更が生じた場合は、変更等届出書の提出が必要です。

◆事業の廃止、休止

添付書類について

変更届を提出する事業者は以下の書類を用意してください。

- ① 変更前後の内容が分かる書類
(新旧対応表など)(※)
- ② 変更後の内容を反映した様式
(変更に係る様式面のみ提出)(※)

※ ただし変更届(第2号様式)の「変更内容」欄で、**この欄の事項か変更になったかが限定できかつ変更前後の内容が分かる場合、提出は不要です。**

例 代表者、本社の住所の変更、
事業の廃止、休止、再開等

**例年、代表者の変更に伴う
変更等届出書を出し忘れている方が多いです。**

前年度の書類と代表者が違う場合は対象です。



最後までお読みいただきありがとうございます。

作成にあたっては「手引き」をご覧くださいとともに、
わからないことがあれば市側の担当者へ遠慮なく
お電話ください。



お問い合わせ先

川崎市環境局脱炭素戦略推進室

電話 044-200-2545

FAX 044-200-3921

Eメール 30jigyo@city.kawasaki.jp